

# セックス イズ ゼロ

2005(平成17)年7月20日鑑賞(ホクテンザ1)

★★★★



監督・脚本=ユン・ジェギョン/出演=ハ・ジウォン/イム・チャンジョン/チン・ジェヨン/チョン・ミン/ユ・チェヨン (エスピーオー配給/2002年韓国映画/98分)

……エアロビクス部の美しきエースと超力同好会の三枚目の老けた大学生との恋模様(?)を軸としながら描かれる一風変わった「学園モノ」……。『美女たちと野獣たち』の極端な対比は非常に面白いが、やはり観ていて楽しいのは美女エアロビクス軍団の美しき肢体。R-18指定のエロティックさをチラホラ見せながらも、基本的にはコメディタッチの笑える映画。しかし、最後はイヤな二枚目をおしのけて三枚目男の「誠意」が勝利するはずだが……？

## ユン・ジェギョン監督の第2作

観客動員430万人のメガヒットとなったこの『セックス イズ ゼロ』の監督は、第1作『マイ・ボス マイ・ヒーロー』(01年)で370万人を動員したユン・ジェギョン監督。

この監督は1969年生まれの若手だから、「学園モノ」が得意……？ しかも単純な青春ドラマではなく、ちょっとひねった人物が登場するのが面白い。

『マイ・ボス マイ・ヒーロー』(01年)では、ヤクザにも高校の卒業証書が必要という大ボスの命を受けて、20歳に年齢をごまかして私立高校に編入するヤクザのボスが主人公だったし、この『セックス イズ ゼロ』では、兵役のため20歳を大きく超えて大学生となった三枚目のサエない男が主人公。日本ではこのような設定の「学園モノ」がないだけに、その設定のうまさと巧妙なコメディタッチの描き方に感心。

もともと、ネズミを食ったり、ネコいらず入りのサンドイッチを食ったりのシ

ーンや女への欲望いっぱい男子寮での男の生態をこれだけ露骨に見せつけられると、日本人にはちょっとエグい……？

## 主人公はエアロビクス部のエース！

この映画の「ウリ」は、『ボイス』（02年）でその超美形ぶりを発揮した美人女優ハ・ジウォンがエアロビクス部のエース、イ・ウニョという役柄で登場し、その悩ましくも美しい肢体を披露すること。そのうえ、この映画全体の設定が、このイ・ウニョと超力同好会の変な大学生チャン・ウンシク（イム・チャンジョン）との恋模様（？）を基調としているから、エアロビクス部の美しい部員たちの練習ぶりやその大会が随所に登場するため、華やかな見どころシーンがたくさん登場する。そして、ユン・ジェギユン監督はその狙いをはっきりとカメラアングルで示しているのです、その点にも要注目！

## 超力同好会とは？

大学にはいろいろなサークルがあるが、体育会系でしかも男ばかりのサークルには一種独特の何とも言えない雰囲気があるもの……？ 男臭いといえばちょっとカッコつけすぎで、ホントは汗臭さ、〇〇臭さ、△△臭さその他……？

兵役に就いていたため、20歳を大きく超えてやっと大学生になった主人公ウンシクが所属しているのは超力同好会で、見るからにマイナー（？）なサークル。もっとも映画の中でウンシクが見せるヌンチャク技やビール瓶切り、そして割れたガラスを背中に敷きその上にブロックを置いてのブロック割り、さらに額でのニンニク潰しなどの技は立派なもの。

ウンシクには、こんな晴れ舞台も少しは用意されているが、前半のほとんどは三枚目の汚れ役ばかりで、そりゃみじめなもの……？

## 二枚目は嫌な奴！

この三枚目のウンシクの対極に位置するのがイケメンのハム・サンウク（チョン・ミン）。このサンウクは何かの特技をもっているわけではないが、イケメンだけで、すべての女子学生の人気の的。彼にはキム・ジウォン（チン・ジェヨ

ン)という美人の彼女がいたが、ある時パーティーで出会ったイ・ウニョとサンウクはお互いに一目惚れ……？

美男美女が知り合ってから結びつくのが早いのは、ある意味当然かも知れないが、このサンウクの、ジウォンからイ・ウニョへの切り替えはあまりにも早すぎる……？

さらに、あれほどプライドが高かったジウォンが「私を捨てないで。2度とこんなことを私に言わせないで……」と懇願しているにもかかわらず、冷たく「仕方ないだろう！」と言い放った彼は、今はイ・ウニョに夢中。しかし、こんな切り替えの早い男は概してプレイボーイで、ヤバいのでは……？ こんな心配をしていると、案の定、この二枚目は嫌なヤツだった……？

## 美しいベッドシーンと話題になったそうだが……？

パンフレットには「ハ・ジウォンとチョン・ミンの美しいベッドシーンが話題になった」と書かれていたが、そんなシーンなど見慣れた(?) オッサン弁護士の中には、至極普通……？ しかしこのベッドシーンを含め、エアロビクス部の美しい女子部員たちがサークル活動として見せる肢体の魅力の他、プライベートでくり広げるあちこちでのベッドシーンも盛り沢山。そういえばなるほど、この映画はR-18指定だった……？

## 男子寮の生態は？

男の私は、当然エアロビクス部の美女たちに注目していたが、この映画、この監督が描く男子寮の生態は、コメディタッチながら、ひょっとして女性客にとっては興味深いかも……？

この年代の男達にとって、頭の中はセックスのことばかり。したがって、男子寮の部屋の中がむさ苦しいのは当然として、エロ本の他、インターネットの画像での○○や△△、そして挙げ句の果てはダッチワイフまで……？ 夏休みに入った男子寮の中では、お互い隣の部屋には誰もいないと信じて「ウハウハ」している奴も……？

もっとも学生時代に、臭い男子寮を見慣れた私にとっては、あまり見たくもな

い光景なのだが……。

## 今どき、こんなダサい話あり？

イ・ウニョとサンウクのベッドシーンはいいとしても、その後の展開はあの美しいイ・ウニョが妊娠するという意外にダサいもの……？

20年も30年も昔の女子高生や女子大生なら、そんな話はたくさんあったし、そんな時の助け合いとしての「カンパ活動」は常識だったはず。また約35年前の私の大学時代には、その「処置」のために付添人（夫役の男？）が必要となるため、誰かに頼んだり、頼まれたり……？ さらには「処置」後の女の子を長期間休ませてあげたりと、さまざまな体験も……？

しかし、この映画が公開されたのは21世紀の今の時代。援助交際当たり前（？）、学生同士のフリーセックス当たり前（？）の今どきの世の中において、ラブラブになった挙げ句の妊娠騒動なんてダサいことがホントにあるの……？

もっとも、こんな結果になったから、イケメン男サンウクのデタラメさが明白になり、相対的に（？）三枚目のダメ男ウンシクの株が一挙に上がり、最後は〇〇、△△となったのだから、ウンシクにとってはかえってラッキーだったかも……？

## タイトルの妙は？

この映画の邦画タイトル『セックス イズ ゼロ』はいかにもケツタイな和製英語……？ このタイトルは何となく思わせぶりできて、どこことなく禁欲的……？ しかし、映画の内容は……？

他方、この映画の原題は『色即是空』。この正確なところを私は理解できないが、何となくわかったような、わからないような……？ さて、この映画を観たあなたはどちらのタイトルがピッタリと考えるだろうか……？

2005(平成17)年7月21日記